

## 長野県総合計画審議会委員からのご意見・ご提言の要旨

(五十音順)

青山	佳世	委員	1
内山	節	委員	2
小口	寿夫	委員	3
金	早雪	委員	4
小林	貫男	委員	5
小松	正俊	委員	6
近藤	光	委員	7
中畠	実香	委員	8
野原	莞爾	委員	9
樋口	一清	委員	10
藤原	忠彦	委員	11
松岡	英子	委員	12
諸富	徹	委員	13
山沢	清人	委員	14
山田	勝文	委員	15
上原	貴夫	専門委員	16
小澤	吉則	専門委員	17
中澤	勇一	専門委員	18
武者	忠彦	専門委員	19

## 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	青山 佳世 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	人口の減少 東京から近い地域での二地域居住人口の増加 幹線交通網からの二次交通の整備の遅れ
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	長野の宝となる自然・人 クライנגルテン（滞在型市民農園）の取組の先進地 外国人観光客の増加 温泉が楽しめるスキー場が多数 グリーンツーリズムなどの先進地が存在
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	美しい・強い・絆 長野の宝である自然・人を守り抜く、磨きあげる 自然が豊か＝自然災害も多い中、強い国土防災力を持つ＝暮らしの基盤 「業」の活性化 二地域居住人口や交流人口の増加 二地域居住者の定住化による地域活性化 日本人にも外国人にも訪れてもらえる魅力ある観光地の創出 マイカー依存のまちづくりからの脱却
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	クライングルテン利用者等の二地域居住者を通じた地域活性化の仕組みづくり及びその定住化の促進 「スキーリゾート」から「スノーリゾート（食事などスキー以外の楽しみを提供）」への転換、日本ならではの「温泉も楽しめるスキー場」づくりの推進 グリーンツーリズムなどのニューツーリズムをはじめとする観光サービスの質の向上 車を利用しなくても目的地へ行けるまちづくり
その他	他の審議会との連携

## 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	内山 節 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>当面の課題を追いかける時代から子孫に残すべきものを考える時代への変化</p> <p>世界から観光客が来るようになった日本の観光地 (特に日常の生活空間自体の評価が高い。)</p> <p>溶け始めている台湾、韓国との国境(文化・経済など)</p> <p>若者の価値観の変化(留学目的・留学先の変化など)</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>将来へ残すべきものは何百年も続いてきたもの (「自然」、「第1次産業」、「結び合った社会」など)</p> <p>将来に向けた現実的な取組の積み重ねが重要</p> <p>世界を意識した魅力ある観光地</p> <p>文化・経済が相互につながる台湾・韓国との関係</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>「伝統的なもの」「自然遺産的なもの」「日常生活空間」の組合せによる魅力ある観光地づくり</p> <p>産業振興と産業構造の変化に対応できない者に対するセーフティネットの整備</p> <p>県産品に係る安全基準の統一、ブランドの確立</p>
そ の 他	

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	小口 寿夫 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	限られた資源の有効活用 グローバル化 少子高齢化、生産年齢人口の減少 地域で共に支え合う社会へ 医師・看護師不足、介護・福祉の施設・従業者不足 医療・福祉の制度設計の脆弱さ
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	豊かな自然環境、観光資源、地域的多様性、住みやすい環境 人とのつながり（地域連携） 勤勉（向上心）、独立心 高度なものづくり産業の集積（医療と産業の連携が容易） 老人医療費が低く健康長寿県 健診力
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 （キャッチフレーズ）	県民の視点＋グローバルな視点、挑戦と創造の視点 次代にふさわしい長野県づくり ・子育ての場、教育の場、働く場、生活の場、安心老後の場 ・教育・医療は社会的共通資本（人づくりに資源の集中投資） ・協働、自助の精神の醸成、創意工夫 ・互いに支え合う地域の絆（地域力の強化、豊かなコミュニティ） 地域ごとに持続可能で安全安心な医療（在宅含む）・介護福祉体制 の充実、医療と介護福祉のシームレスな（継ぎ目のない）連携 （基本目標） 住みやすい・住んでみたい・行ってみたい地域No.1 健康で安心な生活、活力あふれる長野県 魅力ある（夢ふくらむ）医療・福祉体制の構築 健康文化、健康産業の先進県 人にやさしく、地球にやさしい
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	教育力の強化 若者が集まる環境整備（学ぶ環境・働く場の提供） 地域医療環境のあるべき姿の見える化（必要な医療介護従事者数、 施設数等の試算、安心な交通網・情報通信環境の整備） 医師・看護師の確保（プライマリケア（総合診療）医の育成。研 修医、若年や女性の医師、看護師に魅力ある環境づくり） 地域完結型医療提供体制の構築、医療と介護の密な連携 がん検診や特定健康診査等の受診環境の整備と受診率の向上 医療を核とした信州型産業・環境モデルの創造、研究開発支援 自然環境を利用した医療ツーリズム
そ の 他	病院は地域の財産・資源（雇用力、経済波及力、新産業創出力）

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	金 早雪 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>少子高齢化と国際化</p> <p>A S E A N + 3（日中韓）の枠組みでの交流の重要性</p> <p>人口減少を踏まえた女性の働き方の変化</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>豊かな観光資源</p> <p>歴史的に培われてきた「ものづくり」の技術</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>少子高齢化を前提とした施策の展開</p> <p>国際化を踏まえ、自分たちの伝統を大切にする視点</p> <p>一人ひとりを大切にする視点、「ちがい」を前提とした政策決定</p> <p>「ちがい」が機動力となる社会</p> <p>未来指向(将来を見据えた投資が必要という観点からのキーワード)</p> <p>世界指向(国際化の潮流を踏まえたキーワード)</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>70歳定年や賃金ピーク制の導入など少子高齢化に対応した社会システムの構築に向けた議論の喚起</p> <p>信州まつもと空港の機能充実によるインバウンドの取り込み</p> <p>外国人が英語で観光できる環境の整備</p> <p>学校における長期的な視点での英語教育</p> <p>一般県民に対する英語教育</p> <p>外国籍児童生徒の公立学校への受入推進とエスニシティ(民族的文化的属性)を考慮した教育</p> <p>環境関連産業の展開</p> <p>貿易自由化を推進し国際的な競争の中でものづくり産業を伸ばしていくことが必要</p> <p>男女が共に子育てに関わる環境整備</p>
そ の 他	<p>男女共同参画の面から女性副知事登用は県民へのメッセージ</p>

## 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	小林 貫男 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>少子高齢化の進展 雇用環境の悪化 厳しい財政状況 地方分権の進展</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>大都市圏に近接するなど地理的な条件 豊かな自然環境 ものづくり産業の優位性 温泉、スキー場、高原などの観光資源</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>厳しい財政状況を踏まえた施策の重点化 県民の力を結集し、総合力により施策を推進 県民が安全・安心に暮らすことができる社会 高齢者が暮らしやすい社会 「夢と希望」がキーワード</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>深刻な雇用環境を踏まえた新卒者への就職支援 高齢者をはじめとする交通弱者対策 強みのある観光資源を活かした観光施策 市町村が個性的な地域づくりを進めるための支援 公の一端を担う地域コミュニティ(自治会)の再評価と機能の強化</p>
その他	<p>総花的な総合計画となっても、どの部分に力を入れていくかというメリハリをつけることが必要 実現可能な夢を描くことが大切</p>

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	小松 正俊 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>アジア向け輸出の増加（アジア向けはアメリカの倍以上）</p> <p>T P P等貿易自由化の動き</p> <p>円高基調の継続</p> <p>少子高齢化による高齢者単独世帯の増加や老老介護の増加</p> <p>中山間地域では農業はもちろんのこと、生活の維持が課題</p> <p>地域コミュニティの希薄化</p> <p>情報通信技術の発達</p> <p>ゲリラ豪雨の多発</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	山村留学を県内6箇所で開催し、受入人数は全国一
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>アジアを中心としたグローバル化への対応</p> <p>T P P協定交渉については、参加10か国のうちG D Pの多い日米間の問題が重要</p> <p>T P P協定交渉は、農業以外の分野も含めた影響について国民的議論が必要</p> <p>農業を雇用の受け皿として捉えることが必要</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>農産物の輸出については中・長期的なメリットを確認しつつ対応</p> <p>地域特性を活かした農産物のブランド化と、県全体のブランド力向上による牽引力の発揮</p> <p>産学官連携による新規就農者支援</p> <p>コミュニティの再生を鍵に以下の施策を展開することが重要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水路等の維持や遊休荒廃農地の解消</li> <li>・ 地域全体で支える子育て</li> <li>・ 地域で展開する食育活動</li> <li>・ 災害時要援護者や買い物弱者を支える地域の取組</li> </ul> <p>情報通信技術を使った農産物と産地をつなげる取組</p> <p>農作業の持つ健康増進効果の再認識</p> <p>森林によるC O 2吸収量の販売</p>
そ の 他	

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	近藤 光 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>現行計画策定後の最も大きな変化は雇用環境の悪化 企業の海外進出により、県内ものづくり産業の空洞化が進行 従来の人生サイクルが成り立たず将来設計が困難な状況からくる閉塞感 終身雇用の崩壊に伴う「平凡に勤める」、「地道にやる」という感覚の劣化 新卒者の就職状況の悪化 ゲリラ豪雨、東海地震など自然災害のリスクの高まり 人間関係が希薄化する中でお互い支え合うことの大切さを再認識することの必要性</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>高齢者の就業率の高さが健康長寿の特徴にもプラスに作用</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>行政の限界を踏まえ、地域レベルで行政サービスを補完する仕組みづくりの必要性 「働くこと」を軸として進める長野県づくり 社会のリスクを社会全体で背負う多面的なネットワークを紡ぐことができるような意識の醸成 地域の繋がりという長野県の良さを取り戻す視点 (基本目標) 安心感、信頼感があるという意味で、「協力し合い支え合う信州(長野県)」</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>人口が減少する状況下での雇用の確保 意欲があり就職を希望する若者が働くための仕組みづくり 若者の離職を増やさないようにするための大学・高校での職業教育 災害に備えた重層的なネットワークづくり 「地域での協働」の推進 東海地震を想定した建物の耐震化</p>
そ の 他	<p>新たな総合計画を巡って県民の中に大きな議論を巻き起こすことが必要 皆が共有できる計画とすることが必要</p>



# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	中畠 実香 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>少子高齢化の進展 核家族化による女性の介護や育児での負担の増加 高齢者世帯の増加による買い物弱者問題の顕在化 県産農産物などの宣伝不足</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>高速交通網整備による首都圏との時間距離 信州の知名度・憧れ</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>暮らしやすい県 産業の振興と雇用の場の確保 地域や社会での支え合い</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>介護や育児での女性の負担軽減のための仕組みづくり 高齢者の知識や経験の有効活用 農産物をはじめとする地域ブランドのマーケティング戦略 産科をはじめとする医療の充実 観光資源の発掘と外国人誘致 買い物弱者対策</p>
そ の 他	

## 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	野原 莞爾 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	人口減少、高齢化の進展などによる社会構造の変化 リニア中央新幹線の整備 都市と地方の情報格差（情報の加工能力の不足、それを展開する人口の不足、事業の経験が不足） 結びついていない、医療、農業、観光資源などの1つ1つの強み
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	南の北限・北の南限である動植物の多さ 各地域の多様性
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	「力強い長野県」を狙いに 社会構造の変化に対応した新しい行政のあり方と税金の使い方の提案 リニア中央新幹線駅の設置を契機とした下伊那地域の発展 地方の情報をいかに加工して発信するか、また都市の情報をいかに得て加工して活用するかが地方の活性化にとって重要 長野県の魅力をアピールする「信州ブランド」の確立
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	財政、観光、産業、雇用などを強化する取組 県民が考え役割を担う全員参加の行政のしくみづくり 税収増につながる先行投資としての補助金への転換（新しいビジネスモデルを支援、民間の投資を喚起） 行政運営に民間からの寄付金を導入するための税制の改正 情報を活用するインフラ整備 情報や経験の不足を補い地域を活性化させる交流の促進 交流人口、定住人口の増加のための魅力づくり（医療と農業の組合せによる予防医学的な取組など） 「信州ブランド」の確立のため、長野県の棚卸しを行い、1つ1つの「強み」「特徴」を誰にでもわかるストーリーで演出
その他	総合計画は「何のために」「どこへ行くのか」「そのために何をするのか」ということをストーリーとして訴えるものに 県民に対して丁寧な説明をしていくことが必要

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	樋口 一清 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>非常に厳しい経済情勢 高齢社会と、それに伴う成長率の低下 活躍の場の少ないシニア世代 地球環境問題に対する政府の取組強化 さらに進むグローバル化 情報ネットワークの発達に伴う産業集積の形の変化 外資に対して開かれていない長野県</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>オリンピックをきっかけとした知名度の高さ 世界に発信できるすばらしい自然・景観と健康長寿</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>グローバルな発想・視点 グリーンイノベーションや、ライフイノベーションへの重点化 地域ぐるみの社会システムの変革を伴うグリーンイノベーション 高齢社会での地域の活力・成長の確保 中長期的視点での弱みを強みに変える発想の転換 外国人技術者等の暮らしやすさの実現</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>グリーンイノベーションを担う環境人材(T字型人材)の育成 (専門分野(縦軸)+環境に関する視野(横軸)を持った人材) 環境・医療分野における起爆剤となる技術開発 特に、環境人材の育成による中小企業のグリーン化推進 情報ネットワークを活用したシニア世代や女性による創業の支援 情報インフラの整備 社会的企業による地域の社会的ニーズを受け止めるネットワークの整備 中山間地域の高齢者への生活上の安全に係る情報の伝達 インバウンドの促進により国際交流の強化 国際交流セクションの強化による農産物や観光のセールス 新技術に係る研究と、研究者を核に集積する産業クラスターを産学官連携で創造 総合特区制度の積極的活用 地域ブランド戦略による付加価値の高い中山間地域農業 交流・学習機会の増加による地域リーダーの養成 健康づくりに参加しやすい地域の環境づくり</p>
そ の 他	<p>独自性・新規性が高く、チャレンジするようなモデル的な取組の提示 百科事典型でない計画 一方で、重要な課題・基本項目の記載も必要</p>

## 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	藤原 忠彦 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	社会経済情勢は、今後も大きく変動 国際的な情勢はこれからも変動 地域主権の議論の深まり
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	歴史、文化や風土など独特な個性を持つ地域
県づくりの 基本的な視野 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	国際的な視野 国内だけを考えず、世界とどう付き合っていくか考えることが必要 個性を生かした地域社会の形成 リーダーシップをとって、地域と一緒に動く県 経済の安定が重要
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	国際戦略、特にアジアに向けた成長戦略 経済政策、成長政策を優先的に行い、“食える”県土づくりを推進 子どもたちが地域の文化や風土を継承できる教育体制の整備 人口、財政力のほか、歴史、文化、輩出した人物や観光資源など、あらゆる情報を網羅した“市町村カルテ”の作成
その他	激動する社会に弾力的に対応するため、計画のローリング性も必要 総花的でない、実効性のある計画 高いレベルの“夢”を描いた計画

## 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	松岡 英子 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>少子高齢化の進展 老後に不安を持つ豊かな高齢者 家庭教育により生じる格差を是正する義務教育の重要性 ゆとりのない学校現場 地域のつながりの希薄化 日本はどこでも自然が豊かなため、自然の豊かさで「長野県らしさ」を出す難しさ</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	他県からの教育県との評価
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>少子高齢化の進展をマイナスではなくプラスに リタイア後も住みやすい長野県づくり 長野県を支える人材の育成 県民の信州教育への自信の復権 人的ネットワークで支える地域づくり</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>高齢者関連産業の振興による県内経済の活性化 介護分野における施設整備や雇用拡大 小中学校の教育を連続的に行うための取組 ゆとりをもって教育できる環境の整備 地域のつながり強化のための取組への支援 観光地における環境保全</p>
そ の 他	<p>計画策定にあたっては効果の測定を踏まえた成果指標を設定することが必要</p>

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	諸富 徹 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>経済の低成長化、財政制約、人口減少、高齢化、環境など、様々な制約条件に我々の社会は直面</p> <p>この制約条件下でどのように県民生活の幸せを最大化していくかという難しい局面に対峙</p> <p>環境、観光、農業の6次産業化、街並みや歴史的遺産など、物質的でないものの価値を高く評価する時代</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>人々の持っている知識、知恵やデザイン性といった、非物質的な価値についての、もともと非常に高いポテンシャル</p> <p>観光のグローバル化に対応できる長野県</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>予算のメリハリを付けるなど、制約条件下で何に優先順位を付けるかが非常に需要</p> <p>グローバルな競争社会では、全体の底上げでは、全体が沈下</p> <p>長野県の持つ、高い非物質的な価値をこれからどうやって生かしていくかが重要</p> <p>学校教育や社会人に対してなど、人的資本に対する投資が必要</p> <p>人間のつながり、ネットワークの強化をどう図るかが、広い概念での発展を導く重要な要素</p> <p>働く場、生活の安全・安心さと、文化的な楽しみが必要</p> <p>高等教育はどの層の期待に応えるのが肝要</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>伸びる人材を県内にとどめて、投資していくことが必要</p> <p>観光資源の海外への積極的な売り込み</p> <p>製造業のグリーン・イノベーション</p> <p>緑の分権改革で出た芽を発展させることが必要</p> <p>農林業と環境を合わせて振興。オフセット・クレジットや環境教育も促進可能</p> <p>建設業の省エネ改修ビジネスへの誘導</p>
そ の 他	

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	山沢 清人 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>経済不況や高齢化など課題が山積 長野県は全国より早く高齢化、過疎化などが進展</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>全国、全世界に誇れる強みは自然環境や長寿 緻密なものの考え方で、知的レベルが高い信州人 ものづくりの県 観光・食・暮らし・伝統等、多岐にわたる分野を支える「環境県」</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>さまざまな課題に各市町村や企業、NPOなど、それぞれが単独で行うには限界 県が主体的にとりまとめをしてネットワーク化を図り、5年後、10年後の姿を形作っていくことが必要 県内産業の中でも特に将来性が見込める観光産業への重点化 過疎地域にとっては、生活を維持するためには最小限の建設業が必要 外へ攻める農業、稼げる農業への転換 ものづくりが依然として重要 自然環境を活かすには、観光面、農業面、健康面、雇用面など様々なアプローチの方法で検討 自然環境や長寿という点を積極的に県内外へPR 長期的に見て、長野県の森林は材木・水含め重要な資源</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>学校教育、大学、企業や地域における専門職業人などの人づくり 多くの旅行者、特に海外からの旅行者を獲得することによる観光産業の振興 観光業自体を魅力ある就職先にし、雇用面から地域活性化を促進 農産物の地域ブランド化 排出権取引を視野に入れた森林の買い占めへの対応策 自然環境や健康長寿の積極的PRによる信州へのIターン拡大や定住化施策の促進</p>
そ の 他	<p>企業の経済環境や県の財政状況等を踏まえた計画 実現可能性の高い計画 市町村や企業、NPO等との役割分担を意識した計画</p>

## 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	山田 勝文 委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>少子高齢化に伴う労働人口、消費人口の減少          高い高齢化率、その一方で長寿県          買いたい物がないという意識による国内の需要不振          節約意識の高まりによるデフレの深刻化への危惧          中山間地域などでの野生鳥獣被害の深刻化</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>高い健康への意識          豊かな自然、水を供給している日本の屋根</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>Kのつくもの(経済、環境、教育、子育て)への対応          産業政策への重点化          観光は県内経済にとって重要な要素          市町村と県との連携や役割分担による、見える形での施策の推進</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>消費者需要の喚起につながる取組          製造業の県内での再投資          製品開発分野への積極的な取組          差別化による宿泊観光客の増加への取組          地域ごとのテーマで取り組む広域的な観光振興          抜本的解決につながる野生鳥獣被害対策の取組</p>
その他	<p>優先性を踏まえた内容の検討</p>



# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	上原 貴夫 専門委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>経済回復・力強い経済の構築が急務          高齢化社会の進展・長寿社会の進展          高速交通時代          教育立県「長野」</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>長寿世界一（長寿人生）          世界とつながる長野県（グローバル社会、高速交通網、情報網）          豊かな生活・文化、自然、歴史</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 （キャッチフレーズ）	<p>県民参加のデュアルアクション（既存の仕組みの再生と新たな仕組みの構築：再生する長野・新生する長野）</p> <p>地域の独自性を生かすため、圏域（クラスター）に分けて推進          産・学・官・民の協働          多くの県民が、長寿で、豊かな文化生活を実現することを可能にする長野県          安心して産む・育てることができる長野県          安心して、心豊かに生きることができる長野県          来たくなる、住みたくなる長野県          年齢、性別、地域、障害の有無、国籍などにかかわらず、誰でも働きがいのある長野県          障がいや年齢などにかかわらず、誰にでも学ぶ機会が平等にある長野県</p> <p>（基本目標）          長寿を基軸とした県の構想「長寿長野」</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>合計特殊出生率の上昇など、自然増、社会増による人口の増加          高齢者、障害者、女性、外国籍県民の雇用対策による生産人口の増加          子育て支援、老後の生活保障、医療の充実等福祉の充実          学力・特別支援・不登校対策等多様な教育の保障          宇宙産業の技術を応用した生活分野での新産業創出</p>
その他	

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	小澤 吉則 専門委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>先進国主導からアジア新興国も含めた多極型成長への転換 国内における人口減少、高齢化 900兆円を超える国債残高による財政赤字問題 付加価値の低い長野県産業 時代の変革に対応した産業構造の転換 観光業の脆弱な経営力と地域のまとまりの弱さ 耕作放棄地の増加、後継者不足、鳥獣被害の深刻化など多くの課題を抱える農業</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>豊かな自然環境 世界一の長寿県 人柄の良さ 精密微細加工の集積地</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>若者が継続して住みたい、大学に進学した若者が戻って来たくなる郷土 付加価値の高い産業構造への転換 憩える地域コミュニティや森林農地の再生 (基本目標) 世界一の環境と健康の郷土“NAGANO”</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>環境や健康分野、次世代輸送システムなど、グローバル化や人口減少、高齢化に対応した成長産業への構造転換 そのための研究開発機関や研究開発型企業の誘致、産学官連携 新興国と土俵を違えた環境や健康を活かし「長野ブランド」とした地域資源製品の開発とアジア・新興国への販路開拓 地域資源の活用と旅館・ホテルの経営力強化及び地域内連携による観光業活性化 農産物直売所などの積極的な事業展開による農業活性化 以上外部から稼ぐ力を強くし、且つ地域内でお金が循環する仕組みづくりと人材育成(特に観光、商業) 地域内でお金が循環するための商業の経営力強化や地域づくり 農業と商業・工業などの連携による6次産業の活性化</p>
その他	

# 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	中澤 勇一 専門委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>地域偏在等による医師不足</p> <p>高齢化の進展</p> <p>医師の高齢化、女性医師の増加</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	一人当たりの老人医療費が全国で低い方から3番目
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>医療における地域格差の解消</p> <p>病院完結型医療から地域完結型医療への移行</p> <p>医療の質、効率性の向上</p> <p>少子化への対策ではなく、限られた人材の活用を考えるべき</p> <p>再雇用等による女性や高齢者の就業率の増加</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>交通網の整備、救急移送手段の適正化</p> <p>病院と診療所の連携</p> <p>地域別疾患別の受療動態や需要に基づいた専門医等医療資源の適正配置と、医療資源の集約化</p> <p>医療圏の見直し</p> <p>地域に共通した電子カルテの導入</p> <p>高齢者のサポートと在宅医療の強化</p> <p>総合医、家庭医(GP)の強化</p> <p>IT技術を用いた高齢者の暮らしの支援</p> <p>高齢者と学生・児童の世代交流</p> <p>女性医師・看護師の働きやすい環境の整備</p> <p>高齢者及び女性の労働支援</p>
その他	

## 新たな総合5か年計画策定にあたっての ご意見・ご提言の要旨

委員名	武者 忠彦 専門委員
時代の潮流 ・ 長野県の現状と課題	<p>低成長経済、少子高齢化社会、低炭素型社会、産業のグローバル化、地方分権</p> <p>まちづくりは近代化から多様化へ、量的充足から質的充足へ</p> <p>持続可能な地域をいかに構築するか</p>
未来につなぐ 長野県らしさ ・ 長野県の強み	<p>盆地地形に裏打ちされた地域ごとの個性と自立性</p> <p>大都市圏からの「適度な」距離という立地特性</p> <p>農業と観光業に適した自然環境</p>
県づくりの 基本的な視点 ・ 長期的にめざす姿 ・ 基本目標 (キャッチフレーズ)	<p>地域の持続可能性</p> <p>地域を持続可能なものとするために、投資や人口を誘導する仕組みをつくる</p> <p>投資や人口を誘導するための地域経営的な視点（たとえば「環境首都」など）</p> <p>行政に頼らず、さまざまな主体で権限とリスクを分担し、技術や知識を持ち寄って、課題を解決する「地域ガバナンス」の構築</p>
めざす姿を 実現するための施策 ・ 優先的に取り組むべき テーマ	<p>コンパクトシティ関連施策（交通体系の見直し、中心市街地居住の促進と生活環境の整備など）</p> <p>中心市街地の空洞化対策（不動産の所有と利用の分離、街並み修景、住宅の耐震化）</p> <p>自然環境や文化など、長野県の地域性を活かしたまちづくりへの支援</p> <p>市民による地域活動へのさらなるエンパワメント</p> <p>運営管理部分を民間の経営能力に信託することによる公共ストックの利活用</p>
その他	